

補助事業番号 22-1-129

補助事業名 平成22年度 公益事業の助長育成補助事業

補助事業者名 公益財団法人 車両競技公益資金記念財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

財団法人JK Aの行なう公益の増進を目的とする補助事業を支援並びに補完することにより、その効果を高め、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 補助事業による施設の補修改善等事業

財団法人JK Aの補助施設で、完成後15年以上を経過して老朽化している施設、及び施設整備水準が平均を著しく下回り、有効利用上重大な障害が生じ緊急に改善が必要と認められる施設、並びに運営上緊急に整備が必要と認められる施設の改善事業に対する助成。

② 社会福祉ボランティア活動の推進事業

社会福祉のためのボランティア活動の推進に必要な各種器材の整備事業に対する助成。

③ 医療の向上に資する研究事業

がん、心臓病の基礎的研究事業及びがん、心臓病の先駆的研究事業に対する助成。

④ 災害等緊急対策事業

災害復旧援護に係わるボランティア活動事業及び公益上きわめて有益な事業で緊急に助成を要する事業に対する助成。

2. 予想される事業実施効果

① 補助事業による施設の補修改善等事業

社会福祉施設等の補修改善事業が実施されたことにより、施設の安全性・快適性等施設環境の改善を図ることで利用者のニーズに応えることが利用者に対するサービスの向上につながるとともに、補助施設のより一層の有効活用を図り、地域福祉の増進に寄与することができることと期待される。

② 社会福祉ボランティア活動の推進事業

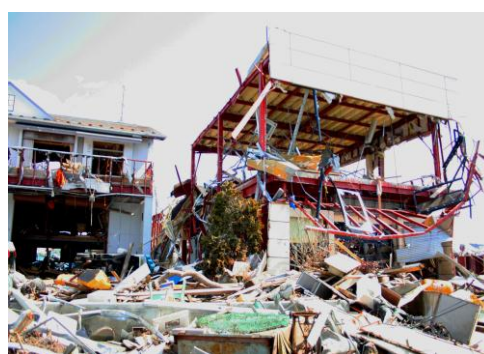
財政基盤の弱いボランティア団体の活動に対する助成を行うことにより、地域住民の交流の機会を増やし、地域におけるボランティア活動の活発化を促すこととなり、地域福祉の充実、社会福祉の増進が期待できる。

③ 医療の向上に資する研究事業

がん・心臓病の制圧を目指す先駆的な研究成果が、医療技術の向上に大いに貢献し、医療の発展が期待できる。

④ 災害等緊急対策事業

成年後見制度の普及により判断能力が不十分になっても安心して暮らせる社会の実現に寄与するとともに、本財団の備蓄器材を活用し被災地にボランティアの派遣事業を実施することにより被災住民の復興援護に貢献するものと予想される。今後もボランティア団体の派遣を通して、災害復旧援護ボランティア活動の推進が期待できる。



3. 本事業により作成した印刷物等
無し

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人 車両競技公益資金記念財団

(シャリョウキョウギコウエキシキンキネンザイダン)

住 所 : 113-0033

東京都文京区本郷3-22-5 住友不動産本郷ビル

代 表 者 : 理事長 深澤 亘 (フカサワワタル)

担当部署 : 総務部 (ソウムブ)

担当者名 : 総務部長 讃岐誠悦 (サヌキセイエツ)

電話番号 : 03-5844-3070

F A X : 03-5844-3055

E-mail : sharyoza@vecof.or.jp

U R L : <http://www.vecof.or.jp>